

アジア・ヘルスケア株式ファンド

運用報告書(全体版)

第10期(決算日 2019年12月23日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「アジア・ヘルスケア株式ファンド」は、2019年12月23日に第10期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2015年1月16日から2024年12月24日までです。
運用方針	主として、アジア(日本を除きます。)各国の金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式(これに準ずるものを含みます。)を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<642681>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	百万円
6期(2017年12月21日)	8,231	0	8.4	—	—	98.5	20,845
7期(2018年6月21日)	8,877	0	7.8	—	—	98.6	18,796
8期(2018年12月21日)	6,848	0	△22.9	—	—	98.5	12,890
9期(2019年6月21日)	6,718	0	△1.9	—	—	98.5	11,819
10期(2019年12月23日)	7,241	0	7.8	—	—	98.8	11,316

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

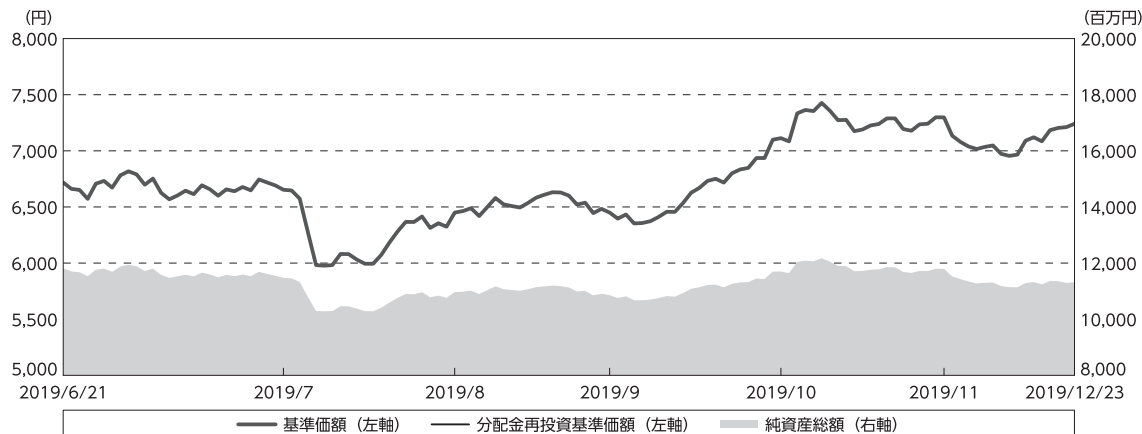
年 月 日	基準価額		投 資 信 託 組 入 比	券 率
	騰 落	率		
(期首) 2019年6月21日	円	%	—	—
6月末	6,718	0.2	—	98.5
7月末	6,732	△1.0	—	98.5
8月末	6,653	△4.0	—	98.7
9月末	6,450	△4.0	—	98.8
10月末	6,450	5.9	—	98.6
11月末	7,113	8.6	—	98.8
(期末) 2019年12月23日	7,298	7.8	—	98.7
	7,241			98.8

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年6月22日～2019年12月23日)

期中の基準価額等の推移



期首：6,718円

期末：7,241円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率：7.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2019年6月21日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 予想を上回る業績発表、新薬承認、革新的な医薬品研究開発の進展などを背景に、中国のヘルスケア市場が堅調に推移したこと。
- ・ 中国の医薬品銘柄CSPCが研究開発説明会を開催し、投資家に同社の研究開発戦略やパイプラインの進捗状況の最新情報を提供したことなどが好感されて良好なパフォーマンスとなったこと。
- ・ 米国の医薬品メーカーBiogen社がアルツハイマー治療薬「アデュカヌマブ」について米国食品医薬品局 (FDA) の承認を求める計画を発表したことを受けて韓国ヘルスケア市場が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・ 韓国の医薬品銘柄Hanmiが、減量の主要評価項目は達成したものの肥満／糖尿病治療薬の第2相試験で血糖コントロールの目標に達することができず、Janssenが同医薬品の権利を返還したとのニュースを受けてセクター全体の下落につながったこと。
- ・ インドの医薬品銘柄AurobindoとLupinがFDAからフォーム483の指摘を受けるなど企業コンプライアンスリスクが再燃した結果、ヘルスケア市場が低調となったこと。

投資環境

(アジア株式市況)

期間中のアジアのヘルスケア市場は堅調に推移しました。投資対象国の中では中国のパフォーマンスが良好でした。

中国では、2019年上期決算で多くの企業が予想を上回る結果となりました。2019年9月、今回は11都市で行なわれた医薬品入札を全国に拡大して実施した結果、2018年12月に行なわれた同じ25医薬品の落札価格が平均して25%低下しました。特に4社以上の入札者がいる場合に大幅な値下げとなり、2018年12月の落札価格に対して平均67%の値下げとなり、中国のヘルスケア市場は、広範囲にわたって調整しました。11月には国家医療保険償還医薬品リスト（NRDL）の改定交渉結果が発表され、値下げ幅の大きさ（予想された50%ではなく60%の引き下げ）と第3次集中調達制度の35の医薬品リストについての未確認情報を受け、中国ヘルスケア市場は軟調に推移しました。

韓国では、10月に米国の医薬品メーカーBiogen社が「アデユカヌマブ」についてFDAの承認を求める計画を発表したことが大きく影響しました。多くのアナリストはこのイベントを「アデユカヌマブ」の「墓場からの復活」と呼びました。この急激な方向転換は大規模データセットの新たな分析に基づくもので、データは長期高用量投与を受けた患者に対するプラスの効果を示しています。このニュースは世界中のバイオテクノロジー企業に新たな希望を与え、特にSamsung Biologics社は、「アデユカヌマブ」が承認された場合、抗体の生産需要が押し上げられ医薬品製造受託機関（CMO）注文の増加につながることから、大幅に上昇しました。第3相試験に失敗したその他の小規模な韓国バイオテクノロジー企業（HLB、Helixmith、Sillajen）も、新たな希望を受けて大幅に上昇しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

中国のウェイトを高くしていたことや銘柄選択がパフォーマンスにプラスに寄与しました。中国のヘルスケア市場が2019年9月にかけて堅調に推移するなか、一部の銘柄を売却して利益を確定させる一方で、割安であった医薬品銘柄やバイオテクノロジー銘柄を買付けました。また、中国銘柄の売却益の一部は、韓国とインドに再投資しました。米国の医薬品メーカーBiogen社が「アデユカヌマブ」についてFDAの承認を求める計画を発表したことなどから、10月の韓国ヘルスケア市場は堅調に推移し、パフォーマンスにプラスに寄与しました。インドでは、インド国内の主要な治療分野において有力なフランチャイズを有する医薬品銘柄を追加しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期
	2019年6月22日～ 2019年12月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

当ファンドは、引き続き中国、韓国、インドのウェイトを維持します。中国では、第3次集中調達制度が予想よりも早く行なわれ、対象になる可能性がある35の医薬品リストに関する未確認情報が流れました。しかしながら投資家は、リストに含まれる医薬品のうち2件はNRDLに入っておらず2018年に販売されたばかりであることに懸念を抱きました。これらの医薬品が含まれるということは、製品ライフサイクルが大幅に短縮し、NRDLに含まれない医薬品でも将来的には集中調達制度の対象となる可能性があるというリスクを示しています。その結果、市場は再び医薬品価格決定に圧力が生じることを懸念し始めています。この懸念は、不確実性が払しょくされるまで続く可能性があります。一方、当ファンドは、医薬品価格決定の圧力を受けない革新的バイオテクノロジーなどの銘柄を選好します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年6月22日～2019年12月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 40	% 0.584	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(8)	(0.122)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.445)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.011)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	41	0.597	
期中の平均基準価額は、6,782円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

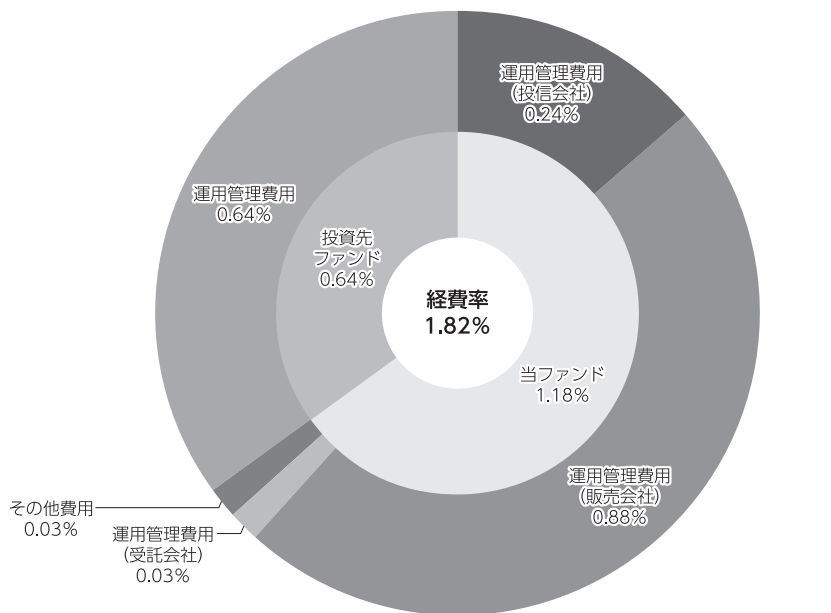
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.82%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.82
①当ファンドの費用の比率	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月22日～2019年12月23日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド (JPYクラス)	千口	千円	千口	千円
		—	—	1,910,645	1,373,861

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
		—	—	1,116	1,119

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月22日～2019年12月23日)

利害関係人との取引状況

<アジア・ヘルスケア株式ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	674	674	100.0	674	674	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

平均保有割合 1.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年6月22日～2019年12月23日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年6月22日～2019年12月23日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年12月23日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額 比 率
	千口	千口	千円 %
日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド (JPYクラス)	16,562,013	14,651,368	11,178,994 98.8
合 計	16,562,013	14,651,368	11,178,994 98.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	11,484	10,368	10,396

(注) 親投資信託の2019年12月23日現在の受益権総口数は、654,191千口です。

○投資信託財産の構成

(2019年12月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 11,178,994	% 97.0
マネー・アカウント・マザーファンド	10,396	0.1
コール・ローン等、その他	333,668	2.9
投資信託財産総額	11,523,058	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年12月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,523,058,202
コール・ローン等	224,298,458
投資信託受益証券(評価額)	11,178,994,228
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	10,396,102
未収入金	109,369,414
(B) 負債	206,168,719
未払解約金	137,446,243
未払信託報酬	65,432,722
未払利息	303
その他未払費用	3,289,451
(C) 純資産総額(A-B)	11,316,889,483
元本	15,628,370,284
次期繰越損益金	△ 4,311,480,801
(D) 受益権総口数	15,628,370,284口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,241円

(注) 当ファンドの期首元本額は17,594,188,853円、期中追加設定元本額は210,894,393円、期中一部解約元本額は2,176,712,962円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.7241円です。

(注) 2019年12月23日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は4,311,480,801円です。

○損益の状況 (2019年6月22日～2019年12月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 31,177
受取利息	88
支払利息	△ 31,265
(B) 有価証券売買損益	883,950,885
売買益	939,342,498
売買損	△ 55,391,613
(C) 信託報酬等	△ 66,944,547
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	816,975,161
(E) 前期繰越損益金	△5,456,648,830
(F) 追加信託差損益金	328,192,868
(配当等相当額)	(△ 2,568)
(売買損益相当額)	(328,195,436)
(G) 計(D+E+F)	△4,311,480,801
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△4,311,480,801
追加信託差損益金	328,192,868
(配当等相当額)	(△ 2,568)
(売買損益相当額)	(328,195,436)
繰越損益金	△4,639,673,669

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年6月22日～2019年12月23日)は以下の通りです。

項 目	2019年6月22日～ 2019年12月23日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	0円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	0円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	0円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2019年6月22日から2019年12月23日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(J P Yクラス)	
	シンガポール籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	日本を除くアジアの医療関連企業の株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を除くアジアの医療関連株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合に制限を設けません。 ・一の発行体に対する投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・証券の空売りは行ないません。 	
収益分配	原則として、毎年6月12日と12月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。なお、運用会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.65% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◆ポートフォリオ明細表

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2018年12月31日現在

地域別（第一区分）	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式			
バミューダ諸島			
China Animal Healthcare Limited	1,246,000	-	-
バミューダ諸島合計		-	-
ケイマン諸島			
Hutchison China Meditech Limited	112,400	3,537,501	2.24
Sino Biopharmaceutical Limited	10,776,500	9,680,691	6.14
Zai Lab Limited	86,492	2,737,439	1.73
ケイマン諸島合計		15,955,631	10.11
中国			
Beigene Limited	167,000	2,445,070	1.55
Huadong Medicine Company Limited	249,300	1,308,696	0.83
Jiangsu Hengrui Medicine Company Limited	164,320	1,719,648	1.09
Shanghai Fosun Pharmaceutical Group Company Limited	1,038,000	4,156,273	2.64
Sinopharm Group Company Limited	1,416,800	8,114,904	5.14
Wuxi Biologics Cayman Incorporated	669,000	5,840,849	3.70
Yichang Hec Changjiang Pharmaceutical Company Limited	373,000	1,694,838	1.07
中国合計		25,280,278	16.02
香港特別行政区			
Beijing Tong Ren Tang Chinese Medicine Company Limited	1,109,000	2,378,599	1.51
China Resources Pharmaceutical Group Limited	2,554,500	4,545,019	2.88
CSPC Pharmaceutical Group Limited	4,170,000	8,203,391	5.20
香港特別行政区合計		15,127,009	9.59
インド			
Aurobindo Pharma Limited	419,938	6,001,411	3.80
Cipla Limited	389,105	3,940,779	2.50
Dr Reddy's Laboratories Limited	175,417	8,962,569	5.68
Fortis Healthcare Limited	750,000	2,048,501	1.30
Lupin Limited	258,127	4,254,880	2.70
Sun Pharmaceutical Industries Limited	570,000	4,790,768	3.04
インド合計		29,998,908	19.02
インドネシア			
Kalbe Farma TBK PT	29,861,800	4,302,360	2.73
インドネシア合計		4,302,360	2.73
マレーシア			
IHH Healthcare Berhad	2,940,500	5,227,628	3.31
マレーシア合計		5,227,628	3.31

地域別（第一区分）（続き）

	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式（続き）			
韓国			
Celltrion Healthcare Company Limited	44,107	4,035,608	2.56
Celltrion Incorporated	32,744	8,859,825	5.62
Genexine Company Limited	44,966	3,987,866	2.53
Green Cross Corporation	14,356	2,385,020	1.51
Hanmi Pharm Company Limited	16,652	9,458,865	6.00
Macrogen Incorporated	21,838	781,628	0.49
Medy-Tox Incorporated	4,635	3,271,500	2.07
Samsung Biologics Company Limited	26,291	12,445,103	7.89
Sillajen Incorporated	38,933	3,486,113	2.21
韓国合計		48,711,528	30.88
台湾			
Pharmaessentia Corporation	250,000	1,934,550	1.22
Twi Pharmaceuticals Incorporated	625,000	1,635,222	1.04
台湾合計		3,569,772	2.26
タイ			
Bumrungrad Hospital Public Company Limited	626,100	4,914,358	3.11
タイ合計		4,914,358	3.11
米国			
Kolon Tissuegene Incorporated	17,438	923,433	0.59
米国合計		923,433	0.59
上場株式合計		154,010,905	97.62
投資ポートフォリオ		154,010,905	97.62
その他の純資産		3,757,003	2.38
受益者に帰属する純資産		157,767,908	100.00

地域別(要約)	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式	
ケイマン諸島	10.11
中国	16.02
香港特別行政区	9.59
インド	19.02
インドネシア	2.73
マレーシア	3.31
韓国	30.88
台湾	2.26
タイ	3.11
米国	0.59
上場株式合計	<u>97.62</u>
投資ポートフォリオ	97.62
その他の純資産	2.38
受益者に帰属する純資産	<u>100.00</u>

業種別(第二区分)	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
バイオテクノロジー	25,668,606	16.27
ヘルスケア - サービス	15,676,600	9.94
製薬	112,665,699	71.41
投資ポートフォリオ	<u>154,010,905</u>	<u>97.62</u>
その他の純資産	3,757,003	2.38
受益者に帰属する純資産	<u>157,767,908</u>	<u>100.00</u>

◆ 損益計算書

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2018年12月31日に終了した会計期間

	2018年 シンガポール・ドル
収益	
受取配当	1,223,648
現金および銀行残高に係る受取利息	62,399
	<u>1,286,047</u>
費用	
運用報酬	1,250,852
登録費用	2,888
受託者報酬	58,197
保管報酬	70,061
監査報酬	26,527
評価報酬	77,597
取引費用	707,679
その他費用	103,396
	<u>2,297,197</u>
純損失	<u>(1,011,150)</u>
投資に係る純(損失)利益	
投資に係る純損失	(29,671,061)
純為替差損	(148,508)
	<u>(29,819,569)</u>
税引前当期損失合計	(30,830,719)
所得税	(66,726)
税引前当期損失合計	<u><u>(30,897,445)</u></u>

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年10月15日）
（2018年10月13日～2019年10月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
6期(2015年10月13日)	円		%	%	百万円
	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2018年10月12日	10,032		—
10月末	10,032		0.0
11月末	10,032		0.0
12月末	10,031		△0.0
2019年1月末	10,031		△0.0
2月末	10,030		△0.0
3月末	10,030		△0.0
4月末	10,030		△0.0
5月末	10,029		△0.0
6月末	10,029		△0.0
7月末	10,028		△0.0
8月末	10,028		△0.0
9月末	10,028		△0.0
(期 末)			
2019年10月15日	10,028		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年10月13日～2019年10月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,032円の基準価額は、期間末に10,028円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.29%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

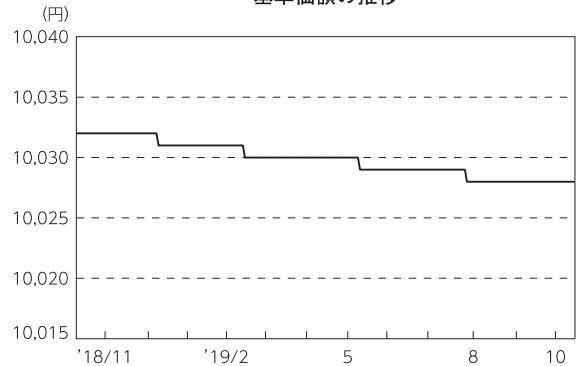
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2018/10/12	2018/10/15	2019/07/29	2019/10/15
10,032円	10,032円	10,028円	10,028円

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、10,029円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年10月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 587,539	% 100.0
投資信託財産総額	587,539	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月15日現在)

項	目	当	期	末
(A)	資産			587,539,135
	コーポ・ローン等			587,539,135
(B)	負債			566,667
	未払解約金			566,564
	未払利息			103
(C)	純資産総額(A-B)			586,972,468
	元本			585,356,899
	次期繰越損益金			1,615,569
(D)	受益権総口数			585,356,899口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,028円

(注) 当ファンドの期首元本額は594,074,221円、期中追加設定元本額は238,040,716円、期中一部解約元本額は246,758,038円です。

(注) 2019年10月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	206,424,997円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	623,465円
・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	202,343,309円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	519,821円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	20,897,941円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	484,618円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	20,061,866円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	466,936円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	13,870,727円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	454,107円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	11,942,765円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	434,138円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	10,967,392円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	413,586円
・エマーゼンダ・プラス(マネーボールファンド)	10,557,157円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	377,932円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,368,109円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	361,850円
・世界標準債券ファンド	9,573,068円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	189,420円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,592,716円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	164,194円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	7,033,730円	・グローバル株式トップフォーカス	121,897円
・エマーゼンダ・プラス・成長戦略コース	6,712,463円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	109,758円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマーゼンダ)	99,902円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	5,813,207円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	98,529円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,439,097円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	63,097円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,102,333円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	61,585円
・グリーン世銀債ファンド	2,959,931円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	53,524円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,620,710円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	37,483円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,534,133円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,763,739円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・エマーゼンダ・プラス・円戦略コース	1,734,939円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・SMB C・日興世銀債ファンド	1,691,081円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	19,536円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,668,669円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	14,422円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,473,949円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	10,129円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,125,339円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,080,880円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,937円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,055,594円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,034,578円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,033円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	822,374円		
・日興グラビティ・ファンド	765,053円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0028円です。

○損益の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	226,411
	支払利息		1,324
(B) 保管費用等		△	227,735
(C) 当期損益金(A+B)		△	252,567
(D) 前期繰越損益金			1,925,202
(E) 追加信託差損益金			688,138
(F) 解約差損益金		△	745,204
(G) 計(C+D+E+F)			1,615,569
	次期繰越損益金(G)		1,615,569

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2018年10月13日から2019年10月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年1月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第47条)